

令和7年度・令和6年度秋期 採用
令和8年度・令和7年度秋期 予約採用

新次世代プロジェクト

—未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えた
フロントランナー育成プロジェクト—

募集説明会

2024(令和6)年7月8日(月) 12:00~13:00
於オンライン(Zoom)



(1) 本学における博士支援体制について

(2) 新次世代プロジェクトについて

- ・新潟大学でこれから育成する博士人材像
- ・申請要件・採用予定者数、支援期間、申請条件
- ・概要（キャリアコンテンツ等）、支援内容
- ・各ユニット、ポイント制について

(3) PhDリクルート室・PhDリサーチサポート室について

(4) 学生募集について：募集要項・申請書類の説明

(5) 今後の予定等

(6) 質疑応答



(1)

**本学における
博士支援体制について**

博士（後期）課程の流れ

国家資格

学部（6年制）

学部

博士前期

博士（後期）課程

学位授与
（博士号）

アカデミア

博士研究員（ポスドク）
大学教員、研究所研究員

産業界

研究者、医師、技術者、管理者
など多様なキャリアパス

卒業論文

修士論文

博士論文

学振特別研究員制度への申請

新次世代プロジェクトへの申請

入学料・授業料免除、一時金支給

TA、RA、JASSO奨学金返還免除

PhDリクルート室によるキャリアパス支援

アカデミアリクルート

博士離れの主な要因

- 経済的な不安
- 就職に関する不安
- 孤立しがちな立場

魅力的なプログラム

安心・充実した博士生活のための対策

- 優秀な学生への経済支援→経済的な余裕
- キャリアパス構築支援→明確な進路像
- 専属メンターの配置→相談できる環境

社会での活躍

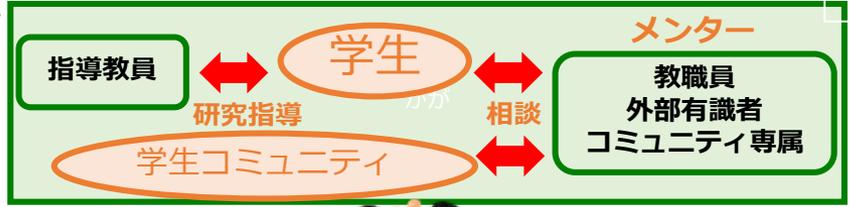
多様なキャリアパス

- 産業界への就職
- アカデミアポスト獲得
- イノベーション創出起業



マッチングイベント等によるキャリアパス支援 (PhDリクルート室)

メンター制度による研究環境支援 (PhDリサーチサポート室)

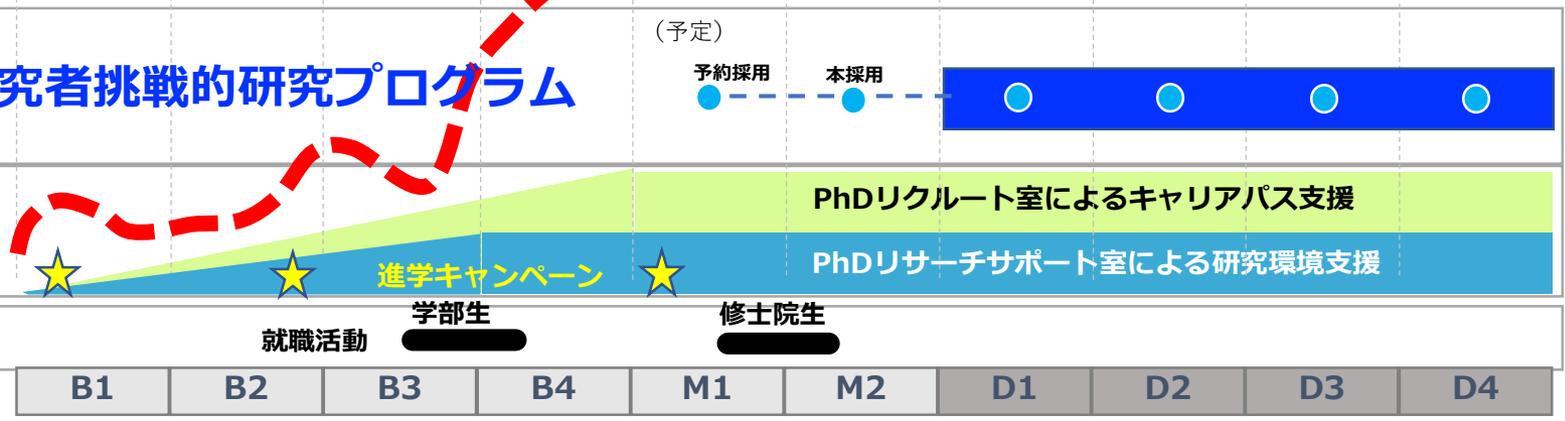


博士課程進学へのモチベーション
(カスタマージャーニーマップ分析による)



次世代研究者挑戦的研究プログラム

早期支援





理事[研究・大学院]
副学長

末吉 邦



副学長 [大学院]
PhDリクルート室長

本田 明治



メンター教員

●現代社会文化研究科



長尾 雅信



伊藤 龍史

●自然科学研究科



関島 恒夫



豊田 光世



中馬 吉郎



安田 浩保

●保健学研究科 ●医歯学総合研究科



齋藤 あや



井上 誠

PhD リサーチサポート室

研究
相談

融合
研究



村山 敏夫



石田 悠貴



弥富 洋子



當銘 香也乃



寺尾 豊



村山 敏夫



飯島 敦彦

支援・サポート

相談

博士(後期)課程学生

採択



研究費・生活費相当額支給
コンテンツ提供

PhDリクルート室

phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp

協力教員



當銘 香也乃



寺尾 豊



村山 敏夫



飯島 敦彦

兼務



土橋 梓



沢田 詠見



大橋 慎太郎



永井 直人

UA室

融合
研究



永島 伸多郎

院生会

学生
交流



新次世代プロジェクト

事業統括



本田 明治

専門深化



寺尾 豊

創生 (クロスAI)



飯島 淳彦

キャリア



弥富 洋子

学際研究



村山 敏夫



【制度や事務手続き】

新潟大学次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局
nu-jisedai@gs.niigata-u.ac.jp

(2)

新潟大学

新次世代プロジェクト
について

2024 (R6) ~



令和6年度次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)
~ 博士後期課程学生の挑戦を支援する ~

採択

実施報告

中間評価
継続判断※



未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えた
フロントランナー育成プロジェクト

実施
支援提供

参加
成果報告

支援学生



※ 中間評価の結果、経費の削減や中止の措置もあり得る。
(JST SPRING公募要領より)

<https://www.jst.go.jp/jisedai/spring/dl/application-guideline-2024SPRING.pdf>

JST 事業概要（HPより）

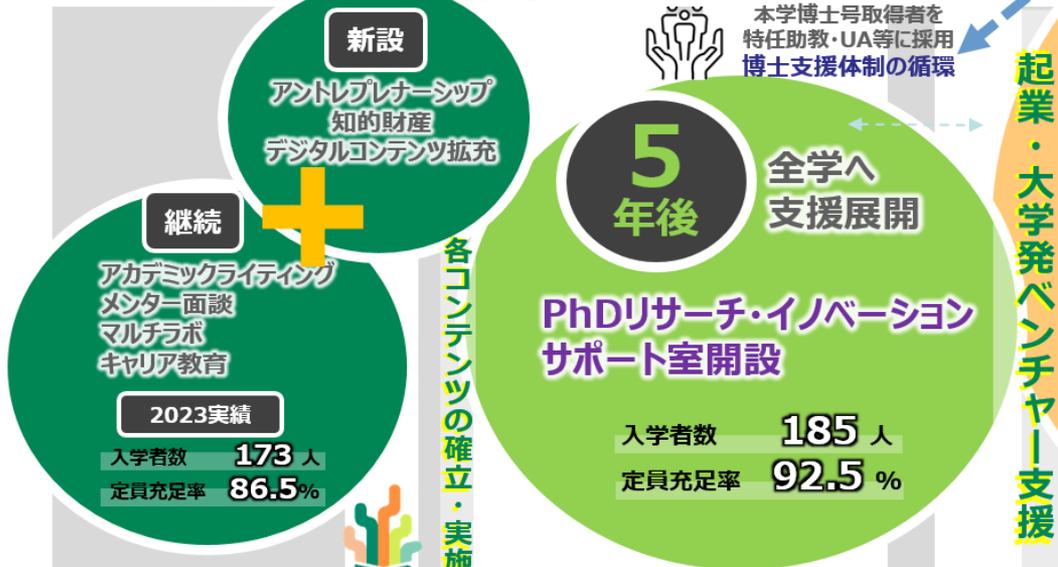
博士後期課程学生は、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配である」等の理由により、修士課程から博士後期課程への進学者数及び進学率がいずれも減少傾向にあるなど、危機的な状況が指摘されています。

すなわち、①我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し、②博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進めることに、一刻の猶予もなくなりつつあります。また、このような現状に至る背景の1つとして、我が国の博士課程教育システム自身が、社会のニーズの変化を踏まえた戦略的な変革を十分に進められていないという構造的な課題があり、その結果、既存の枠組みを越えた挑戦的・融合的な研究も生まれにくくなっていることなども指摘されています。

本事業は、このような状況を打破するため、上記の①や②を一体として主体的に行う実力と意欲のある大学について、新たに大学の研究科や研究室など既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程学生の選抜等を行う事業統括を選定し、そのリーダーシップのもと、当該博士後期課程学生に対する様々な支援を実施・展開する大学の取組を国として支援するものです。

事業統括により選抜された優秀な博士後期課程学生は、所属元の変更などのポータビリティを担保した上で自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念し、あわせて当該博士後期課程学生に対しては、生活費相当額及び研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツ（国際性の涵養、学際性の涵養、キャリア開発、トランスファラブルスキルの習得、インターンシップ等）をはじめとする様々な支援が提供されます。

新潟大学でこれから育成する博士人材像



2024

大学院改革
大学院教育支援機構再編
2025～2029

2028

分野横断研究の推進
裾野の広い総合大学院へ
PhDリクルート室全学組織化

2030

大学将来
ビジョン2030

2033

国際的に通用する挑戦的・融合的研究に
取り組むための環境整備
多様な分野でイノベーションを創出できる博士人材育成

2034

申請区分	申請要件（課程・年次等）	採用予定者数
<p>[1]</p> <p>令和7年度採用 (令和6年度秋期採用含む)</p>	<p>2025(令和7)年4月（または2024(令和6)年10月）に、いずれかの本学大学院博士課程・年次に入学し、在学する予定の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区分制の博士後期課程・第1年次 ・医歯学系の4年制の博士課程・第1年次 	<p>29人</p>
<p>[2]</p> <p>令和8年度予約採用 (令和7年度秋期予約採用含む)</p>	<p>2026(令和8)年4月（または2025(令和7)年10月）に、いずれかの本学大学院博士課程・年次に入学し、在学する予定の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区分制の博士後期課程・第1年次 ・医歯学系の4年制の博士課程・第1年次 	<p>若干名</p>

支援期間

支援期間は、申請区分[1]においては2025（令和7）年4月（または2024（令和6）年10月）から、申請区分[2]においては2026（令和8）年4月（または2025（令和7）年10月）から、最大3年間（4年制の場合は4年間）とし、在学期間が3年間（4年制の場合は4年間）を越える場合は、以降の期間は支援対象外とする。

ただし、各年度の支援人数の制約により、10月入学者においては、支援開始が入学翌年度の4月になる場合がある。その場合、支援期間は最大2年6か月（4年制の場合は3年6か月）となる。

出産・育児等のライフイベントを経た者については、個別の事情に応じ、支援期間の中断・延長等も可能とする。

1. 申請者は、JST SPRING事業及び新潟大学新次世代プロジェクトの趣旨を理解し、優れた研究能力あるいは資質・意欲を有し、自由かつ柔軟な発想による挑戦的・融合的な研究に専念することを希望し、かつ上記の申請要件及び下記の条件を満たす者とする。

年齢制限、研究分野の指定は設けない。

2. 次に掲げる事項を全て遵守できる者とする。

- (1) **申請した研究計画を踏まえた研究活動に専念** すること。
- (2) **キャリア開発・育成コンテンツに参加** ※1 すること。
- (3) **博士学生交流会** ※2 に参加すること。
- (4) 年度始めに **研究計画書**、年度末に **研究成果報告書** を提出すること。
- (5) **メンターによる面談** を定期的に受けること。
- (6) **Researchmapに登録し、業績を更新** すること、及び修了後10年以上に渡って実施する **キャリアについての追跡調査を始め、各種調査に協力** すること。
- (7) **各種研究法令及び学内規程等を遵守し、研究インテグリティ（研究の健全性・公正性）の自律的な確保** ができること。

※1 選択ユニットにより必須となるキャリア開発・育成コンテンツは異なる（後述）。

※2 博士学生が大学横断的に交流を行う交流会。宿泊を伴う可能性もある。

留学生の採用について

JST SPRING事業の公募要領に基づき、留学生においては、

修了後の日本への定着及び日本の国際競争力向上への貢献を視野に入れ、日本の科学技術・イノベーションに貢献するキャリアに進むことが求められる。

また、多様な国・地域、特にASEAN諸国からの受入れを積極的に図ることがJSTの公募要領にて求められているため、選考に当たってその点を考慮する場合がある。

次に当てはまる者は除く

- (1) 独立行政法人 **日本学術振興会** の特別研究員
- (2) 生活費に係る **十分な水準（240万円／年）の給付型の奨学金** を得ている学生
- (3) 所属する大学や企業等から、**生活費相当額として十分な水準** ※ で、給与・役員報酬等の**安定的な収入**を得ていると認められる学生
- (4) **国費外国人留学生制度**による支援を受ける留学生、及び**本国から奨励金等**の支援を受ける留学生

※ 生活費相当額として十分な水準は、240万円／年を基準とする。

★ **白背景：必須**

本学博士後期課程学生 96人を支援

- ★ **採択者ガイダンス**
 - 支援理念浸透・researchmap登録
 - ジョブ型研究インターンシップ専用システムへの登録
- キャリアマネジメントセミナー**
 - キャリアの選択肢提供（学び）
 - ※単位修得済の者は除く
- メンター面談**
 - 学生自身のキャリア観アウトプット
 - 分野選択

リアルバーチャル
リアリリアリティ

R & VR

博士交流
ネットワーク利用
メンターの支援

★ 年度末シンポジウムへの参加

D1 (29人)
キャリアの学び
各分野へ

D2 (29人)
D3 (29人)
D4 (9人)
キャリア・研究の
深化と発展

キャリア
選択

先端未来人材

面談・審査

<p>① 専門深化型 支援人数(目安)：3人</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 論文投稿 修了規定以上数 ● 学振申請 ● アカデミック ライティングセミナー 	<p>② キャリア型 支援人数(目安)：6人</p> <p>③ 創生型 (クロスAI) 支援人数(目安)：6人</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PhDリクルート フォーラム ● ジェネリックスキ ルセミナー ● YDSC企画・運営 ● BDA研究センターの セミナー・講習 	<p>④ 学際研究型 支援人数(目安)：14人</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マルチラボ ● 年度末シンポジウム 等でのマルチラボ 成果発表
---	---	---

キャリアコンテンツ
共通・選択制

- インターシップ
ジョブ型研究インターンシップを含む
- 企業連携イベント
- キャリアマネジメント
セミナー
- ジェネリックスキ
ルセミナー
- 知的財産教育
- アントレプレナーシップ
- デジタルコンテンツ
等

PhDリクルート室
2029全学組織化

起業・大学発ベンチャー支援

● 博士交流ネットワークの利用 「知の共有」

メンター教員 + スイングバイ・プログラム教員 + 特任助教	BDA研究センター PhDリクルート室	UA室
--------------------------------------	------------------------	-----

PhDリサーチサポート室 ~2028
⇒ PhDリサーチ・イノベーションサポート室開設 2029~
+ 学務部教務課大学院支援係

- ✓ **ベンチャー企業の輩出**
- ✓ **出身後も新潟大学と産学連携**
- ✓ **イノベーションに貢献**

キャリアコンテンツの取り組み状況の評価にあたってはポイント制を導入

支援内容

(1) 生活費相当額 月17.5万円を2ヶ月毎に支給

(2) 研究費 各ユニットに以下を支給 (年額)

初年次 (共通メニュー時)	:	20万円
2年次以降 ①専門深化ユニット	:	20万円
②キャリア型ユニット	:	20万円
③創生型ユニット	:	30万円
④学際研究型ユニット	:	40万円

(3) メンターによる研究環境支援及びアカデミアまたは産業界への
キャリア形成に関する助言や提言

(4) PhDリクルート室によるジェネリックスキル獲得のためのセミナー等、
キャリア開発・育成コンテンツの提供

※ 本制度では、授業料の免除は支援内容に含まれません。
授業料の免除を希望する方は、新潟大学独自で実施する授業料免除および
徴収猶予制度へ各自お申込みください。

ユニット紹介

新潟大学

専門深化型ユニット



目指す将来像



- ①日本の科学技術・イノベーションに貢献する(アカデミアの)研究人材
- ②日本へ定着および日本の国際競争力向上に貢献できることが望ましい



必須コンテンツ

支援期間の終了までに、

- ①博士課程修了規定以上の数の論文を投稿すること

支援期間の毎年度に、

- ②学振特別研究員への申請
- ③アカデミックライティングセミナーへの参加



ユニット長

医歯学系 教授・寺尾 豊
(科研費・学振・JST・AMED審査員)



キャリア型ユニット

将来像

環境変化にしなやかに対応できる
イノベーションリーダー

○どの分野でも、自身の博士課程で培った力（研究力含む）を發揮し、科学技術・イノベーション創出できる人材となる。
（産業界に限定していません）

必須 コンテンツ （支援期間中 各1回以上）

- ・ 学外の社会人との接点をもち、自身を鍛える
- ・ 人間力を高めるために、ジェネリックスキルを身につける
 - ◆PhDリクルートフォーラム
 - ◆ジェネリックスキルセミナー3講
 - ・ 交渉学
 - ・ プロジェクトファシリテーション
 - ・ 研究者のためのビジネスマナー

ユニット長：PhDリクルート室 弥富洋子



創生型(クロスAI)ユニット

将来像

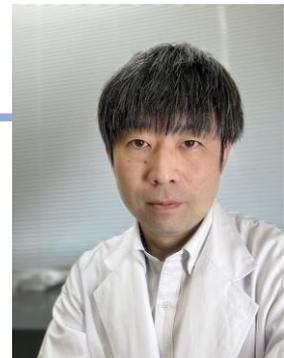
クロスAI分野で イノベーションを創出できる博士人材

- 情報・AI関連技術を活用して専門的研究の推進できる
- 情報・AI関連技術を活用してイノベーションを起こせる
- 情報・AI関連技術をハブとして、異分野とコラボできる

必須 コンテンツ (支援期間中 各1回以上)

- 加速化・多様化するデータサイエンスに関する知見や技術を習得
- キャリア支援メニューによりトランスファラブルスキルを習得
- ◆ YDSCの企画・運営 (支援期間中1回以上)
- ◆ ビックデータアクティベーション研究センターのセミナー・講習への参加 (支援期間中1回以上)

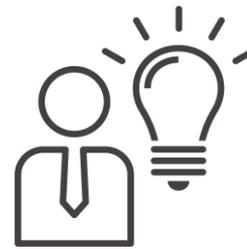
ユニット長：自然科学系情報電子工学系列 (工学部) 教授
飯島 淳彦



学際研究型ユニット

ユニットの目指すビジョン

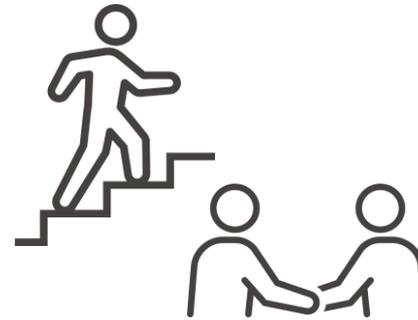
- ・異分野融合で研究力が強化できるユニット
- ・自由な発想と創造ができる若手人材が育成されるユニット
- ・ムーンショット思考が生まれる環境のユニット



学際ユニット長：村山敏夫
(PhDリサーチサポート室長)

学生に養われる能力

- ・主体的で複合的な研究に取り組む能力
- ・障壁を乗り越える能力
- ・未来を創造できる能力
- ・仲間と一緒に協働できる能力



能力を獲得するためのマルチラボ&学内発表 (必須コンテンツ)

- ①マルチラボ：異分野研究室への学内短期留学 (原則3カ月)
 - ②学内発表：U-goサロン、シンポジウムなど
- ・多彩で多様な研究分野の人材とつながるコンテンツ
 - ・異分野の研究室で新しい知見・考え方を学ぶ
 - ・活動を通じて得た経験・成果を発表し意見交換



学際研究型ユニットの支援体制

- ・メンター教員による個別面談対応
- ・若手教員による距離感近いサポート
- ・メタバース空間(oVice)を活用したカジュアルな意見交換

概要

2年次から分かれる4つの人材育成ユニット毎に、**必須の活動** + **自身で選択可能なコンテンツ**に取り組む。



**ポイント制で
実施状況確認**

コンテンツ毎のポイント

- ・博士後期課程1年次／博士課程1,2年次 から支援の学生向けの内容
- ・1年次から全て参加可能

	<共通>	<ユニット毎必修> 2年次以降	
必須	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアマネジメントセミナー履修・単位取得 2 pt ・年度末シンポジウム（参加）* 1 pt ・年度末シンポジウム（発表）* 1 pt <p>*毎年参加毎に1 pt加算</p> <p>6 pt</p>	専門深化 <ul style="list-style-type: none"> ・学振申請（DC2・PD） 5 pt ・規定数以上論文投稿 5 pt ・アカデミックライティング受講 2 pt <p>12 pt +選択2 pt</p>	合計 20 ポイント 以上
		キャリア <ul style="list-style-type: none"> ・PhDリクルートフォーラム参加 5 pt ・交渉学、プロジェクトファシリテーション、研究者のビジネスマナー実践 各1 pt（計3 pt） <p>8 pt +選択6 pt</p>	
		創生 （クロスAI） <ul style="list-style-type: none"> ・BDA研究センター夏期講習参加 2 pt ・若手データサイエンティストコロキウム（YDSC）運営・開催 5 pt <p>7 pt +選択7 pt</p>	
		学際研究 <ul style="list-style-type: none"> ・マルチラボ実施 5 pt ・マルチラボ成果に関する学内発表 2 pt <p>7 pt +選択7 pt</p>	
選択	<ul style="list-style-type: none"> ・交渉学 ・プロジェクトファシリテーション ・研究者のビジネスマナー実践 ・博士交流会 ・博士のためのキャリアセミナー ・オープンキャンパス講演 ・JST主催イベント発表 各1 pt 		合計 20 ポイント 以上
	<ul style="list-style-type: none"> ・インターシップ ・企業研究サイトビジット ・13大学合同企業説明会 ・アカデミックライティング ・BDA研究センター夏期講習 ・U-go知の発表 各2 pt 		

- ・他ユニットの必須項目も選択の中から受講・ポイント取得可能
- ・1年次終了までに**9 pt**、2年次終了までに**計18 pt**取得を推奨
- **ポイント数（実施状況）**によって**研究費増額申請可否**や**支援継続を判断**

（ほか発表内容や論文IF等で追加ptあり）

年間スケジュール（予定）

赤字：参加必須項目

黒字：ポイント項目（ユニットによっては必須）

月	日	項目	月	日	項目	通年・随時
3 4	未定	新規採択者ガイダンス	9	未定	PhDリクルートフォーラム	【通年・実施中】 ・キャリアマネジメントセミナー 前期木曜4限 【通年・随時】 ・ジョブ型研究インターンシップ ・企業研究サイトビジット ・マルチラボ ・メンター面談（2年次以降） 【未定】 ・BDAセンター夏期講習 ・博士交流会 ・YDSC
	中旬	研究計画書提出	10	未定	メンター(ユニット選択)面談 (1年次)	
	30	researchmap登録 ジョブ型研究インターンシップ登録		未定	U-goサロン	
6 7	未定	ジェネリックスキルセミナー (交渉学・プロジェクトファシリテーション・ 研究者のためのビジネスマナー)	11	未定	三大学博士研究融合セミナー	
7	未定	13大学合同企業説明会	3	未定	年度末シンポジウム	
	未定	博士のためのキャリアセミナー	年度末	未定	U-goサロン	
8	未定	オープンキャンパス	3 4	未定	研究報告書提出	

(3)

新潟大学

PhDリクルート室
PhDリサーチサポート室

博士後期課程学生が修了後活躍するためのサポート

アンテナと適応力を高め、専門性を活かし
「高度人材・知のプロフェッショナル」への支援

博士の多様なキャリアパス

(産業界、起業、アカデミア、官公庁・・・)

インターンシップ (JOB型含)

企業研究サイトビジット

PhDリクルートフォーラム

博士のためのキャリアセミナー

キャリアマネジメントセミナー

ジェネリックスキルセミナー

キャリア相談

アンテナを立てる
学外との接点提供

ジェネリックスキル習得

PhDリクルート室



①博士学生の総合的研究支援・学際研究支援

- ・外部競争資金獲得のためのノウハウ提供
- ・学内外のトップ研究者との意見交換の場面設定

- URAとの協力体制、学振ライブラリなど
- メンター面談など

②分野横断融合的研究機会構築

- ・マルチラボ実施時の助言と支援
- ・博士学生同士、博士学生と教職員交流の提供
- ・メタバース (oVice) の積極的活用

- メンター面談
- 次世代サロン、博士交流会など

第2年次～ユニット選択

① 専門深化型

採択学生

② キャリア型
③ 創生型 (クロスAI)

④ 学際研究型



PhDリサーチサポート室長

村山 敏夫

総合的研究支援
分野横断融合的研究機会構築

マルチラボ
実施提言

相談

PhDリサーチサポート室 & メンター教員

丁寧な支援と大胆な発想に対する後押しで博士学生の研究力を高める

(4)

学生募集について

よくご確認ください

募集要項掲載ページ



<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/shinzisedaipj/application-guidelines/>

Q&A掲載ページ



<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/shinzisedaipj/qa/>

申請区分	申請要件（課程・年次）	採用予定者数
[1] 令和7年度採用 (令和6年度秋期採用含む)	2025(令和7)年4月（または2024(令和6)年10月）に、 いずれかの本学大学院博士課程・年次に入学し、在学する予定の者 ・ 区分制の博士後期課程・第1年次 ・ 医歯学系の4年制の博士課程・第1年次	29人
[2] 令和8年度予約採用 (令和7年度秋期予約採用含む)	2026(令和8)年4月（または2025(令和7)年10月）に、 いずれかの本学大学院博士課程・年次に入学し、在学する予定の者 ・ 区分制の博士後期課程・第1年次 ・ 医歯学系の4年制の博士課程・第1年次	若干名

推薦書・同意書
の記入依頼

推薦書：申請者をよく知る方（可能な限り、博士(後期)課程における受入教員(指導教員)）を推薦者に立てて記入を依頼し、推薦者がメールで提出すること。

同意書：必ず博士(後期)課程における受入教員(指導教員)に記入を依頼し、指導教員(受入教員)がメールで提出すること。

申請登録
フォームの入力



<https://forms.office.com/r/xYvjNn3h2W>

※募集(申請)期間のみ入力可能です。

申請書を
メールで提出

パソコンで作成後、自署欄に直筆で記名したものをPDFファイルに変換し、所定のパスワードをつけて送付すること。

提出先：新潟大学次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局
fs-spring@gs.niigata-u.ac.jp

(5)

今後の予定等

募集（申請）期間	7/29（月）～7/31（水） <u>23:59まで</u>
第一次審査結果通知	8/26（月）まで
第二次審査（面接）	9/4（水）～9/6（金）
結果通知	9/18（水）まで

【問い合わせ先】

新潟大学新次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局（学務部教務課大学院支援係）

E-mail（学生募集専用）：fs-spring@gs.niigata-u.ac.jp

【新潟大学の博士支援関連サイト】

PhDリクルート室：<https://www.phd.niigata-u.ac.jp>

博士ポータル：<https://portal.phd.niigata-u.ac.jp>

新次世代プロジェクト：<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/shinzisedaipj/>